

記念講演会

『医療ソーシャルワーカーの
成長過程とストレスマネジメント』

令和5年6月4日(日)

講師 日本福祉大学 社会福祉学部教授
保正 友子 氏



研修会の感想

市立砺波総合病院 安田京子さん

昨年新人が入り、日々、どのように教えていくか、また負担がかかりすぎないように配慮することができるか悩んでいるところです。研修にて変容を促すきっかけについてのお話がありましたが、「後輩の入职」というのがあり、まさに自身の業務について振り返りや言語化のきっかけになっていると思いました。勉強させてもらっているきっかけになっていると実感しました。

グループワークでは経験年数の近い方でお話できたのがとても話しやすかったです。あまり研修会で経験年数が近い方だけで話し合うことが少ないので貴重でした。いろいろな経験を伺い、悩んでいるポイントや取り組んできたことをきき、共感できる場所があったり勉強になる場所がありました。聞いてもらえる機会にもなり元気をもらった気がしました。

広報事業部の
一言つぶやき

先生のお話はどの年代、どの経験年数のSWであっても、それぞれの立場や段階において非常に共感できる内容であったと思います。大変勉強になりました。

当協会にも日本福祉大学OBは多数在籍しており、講演中にご紹介いただいた写真(先生自ら撮影の名古屋や知多半島の名所)を見て、学生の頃を懐かしんでいる会員もいました。私はもはや学生の頃のフレッシュさは欠片もありませんが、若い世代のSWにしっかりと経験を伝え、共に富山のソーシャルワークを盛り上げていきたいと思っております。
安田さん、ありがとうございました！

